

# 大津市議会

# 議会図書室ニュース

## 「使える図書室」宣言！

Vol. 3 平成 28 年 12 月 27 日発行

【問】議会局 077-528-2640 (直)

議員の皆様へ議会図書室をよりご活用いただくこと、「議会図書室ニュース」を発行しています。今号では、議会局内でのプロジェクトチームの立ち上げやリファレンスサービスの活用など、議会図書室の関連情報などをお伝えします。

## 「チーム議会図書室」が始動しています

ミッションロードマップの「議会図書室の充実」の達成に向けて、議会局内にプロジェクトチームを結成しました。「使える議会図書室」の実現に向けて、5チームにより推進していきたく考えています。

### ▼選書・レファレンスチーム▼(チーフ:井上)

連携している龍谷大学図書館からのアドバイスや推薦図書も参考に選書しています。

本のリクエストや調査・相談も随時、受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

### ▼資料管理チーム▼(チーフ:橋本)

購入資料の図書原簿による管理、貸出・配架の整備を行っていきます。

### ▼インテリアチーム▼(チーフ:鎌田)

現在、「もっと議会図書室を使いたい」と思っていただけよう、議会図書室の快適空間化を推進中。リニューアルを目指して、順次、整備していきます。

### ▼スクラップブックチーム▼(チーフ:木津)

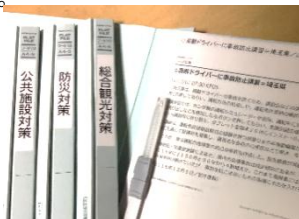
質問の補足資料に活用いただけるよう、レファレンス機能強化に向けた新聞やiJamp等の記事を収集していきます。

### ▼広報チーム▼(チーフ:中島)

議会図書室に関心を持っていただけるよう、議会図書室だよりの発行や、HP・FB等を活用した広報戦略を推進していきます。



ミッションロードマップ関連の本を購入しました！



特別委員会に関連した記事を収集したスクラップファイルもあります

利用が進む議会図書室 只今、変身中！

## レファレンスサービスの活用が進んでいます！

龍谷大学図書館や市立図書館との連携が4月にスタートして以来、利用が進んでいます。今まで様々な図書に関する相談やリクエストを頂きましたが、その中で3件はレファレンス事例と判断し、市立図書館に依頼。そのうち1件は本格的な文献調査のため、龍谷大学図書館に協力を求め、文献を取り寄せて頂きました。

議会図書室でも、新規図書の購入はもちろん、地方自治に関する新聞記事を集めた雑誌「D-file」をサロンに配架するなど、魅力ある蔵書構成に努めるとともに、4階に新しい書架や椅子を購入し、より快適な空間となるよう、リニューアルを図っていきます。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
政策立案	がん対策推進条例	(仮)土地利用基本条例		
	議決事件の検証	(仮)交通基本条例		
	議会における行政評価			
	若者の議会への関心と投票率向上の仕組みづくり			
議会改革	議長選出時の立候補制と所信表明の導入 議長記者会見の実施	政策形成過程における住民参加のあり方検討	議会活動の評価制度の構築	議会図書室の充実

### 【解説】

ミッションロードマップは、議員任期4年間に於ける議会改革・政策立案の実行計画や工程を定めた議会版実行計画で、議会基本条例を具現化するために策定したものです。

## ▼図書紹介コーナー ～質問に使えるかも！？～

議会図書室と議会サロンの図書を紹介します。本を読まれましたら是非、議会局まで感想をお寄せください。



津田議員

### 景観再考 景観からの豊かな人間環境づくり宣言

三部作で構成され、一部は景観が立ち現れる人間と環境との関わり方を、二部は各町の事例を紹介しながら様々な角度からの考察を、三部は二部からの知見や10の宣言が述べられています。様々な視点からの提言は非常に興味深く、モノの見方や考え方も学習できる本です。



清水議員

### 「学力」の経済学

題名が面白いなと思って、読んでみました。子どもも時代と共に変わるし、保護者の教育観も変わる中で、数値を根拠にした子どもへのかかわり方が書かれていて新鮮でした。少人数学級は費用対効果が低いとの結果は、教師と生徒とのふれあい時間アップととらえて良しとする？かですね。



岸本議員

### スクールソーシャルワーカーの現場から子どもの貧困に立ち向かう

子どもの貧困率が6人中1人の状況の下、本書では、教育と福祉をつなぐスクールソーシャルワーカーの実践事例を示しながら、ネグレクト・いじめ・不登校など、複雑な課題を抱える子どもの背景に、貧困があることを浮き彫りにしています。ぜひ一読を！



川口議員

### 地方創生の真実

キャスターの視点でもって、地方創生や特に消滅可能性地域からの脱却を目指す取り組みについて、実行者のインタビュー形式により、筆者の持論を含めた地方創生のヒントとなるものでした。興味をお持ちの方にお勧めの一冊です。